

定例教育委員会（7月度）議事録（要点筆記）

1. 開会及び閉会に関する事項

○開催日時 令和7年7月8日（火）
開会 15時15分 閉会 16時05分

○開催場所 直方市役所6階 第3委員会室

2. 出席者及び欠席委員の氏名

○出席者 教育長 山本 栄司
教育委員 篠田 尊徳 中野 昭子
阿部 英子 内藤 誠治

○欠席者 なし

3. 教育長、教育委員および傍聴人を除く外、出席した者の氏名

教育部長	宇山 裕之	こども育成課長	岩尾 栄子
学校教育課長	林 教司	文化・スポーツ推進課長	船越 健児
学校教育課管理主事	井手上 大輔	教育総務課長	石橋 剛
学校教育係長	守田 雄樹	教育総務係長	天野 浩輔

4. 教育長の報告

別添資料参照（教育委員会行事報告、教育委員会行事予定）

5. 議題及び議事の概要

○議案（議案書は別紙）

議案番号	内容	結果
主管課	趣旨	
議案第9号	直方市立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則	可決
教育総務課	<p>提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第2条第1項第2号の規定により提案</p> <p>議案概要…マイナンバー法等の一部改正により健康保険証が廃止されたことに伴う、別表中の文言の整理。</p> <p>※詳細は資料を参照</p>	

委員意見質問、特になし。

○協議事項

なし

○報告事項

●令和7年6月定例議会一般質問について【宇山部長】

6月定例会一般質問のうち、教育委員会に関与する項目について説明

※詳細は資料を参照

委員意見質問

阿部委員 安永議員の要旨に、地産地消などの様々な課題に対応していますがとあるが、どれぐらいの割合で地産地消の食材が入ってるのか。

石橋課長 小中学校で、概ね5から8品目の直方産野菜を活用している。

阿部委員 気候が安定してないと、どうしても出来不出来があって、そういう場合はどうしても地産地消というわけにはいかないと思うが、そういう場合の対応はどうされているのか。輸入物は使われていないと思うが。

石橋課長 基本的に市場で調達できるものということで国内産がほとんどだというふうに認識している。学校給食なので、1日に4,000人以上に供給するということから、地場産にこだわると、それだけの量を安定的に毎日ということにはならないため、品目を絞って、旬のものであるとか、そういったものを地場産として入れていくようにし

ている。通常よく使うキャベツや人参などは、きちんと市場で量を確保して納入していただいている状況である。

中野委員 輸入物の危険性もあるし、ソーセージなども今、亜硝酸ナトリウムなどの発色剤を使わないものが出回っている。発がん性物質とかの問題があるので、給食にはなるべく気を使っただけの望ましいと思っている。

●直方市学校規模適正化基本計画検討委員会について【教育総務課】

報告概要…6月27日に開催した第4回委員会の協議概要と7月30日に開催予定の第5回委員会の協議予定内容及び今後のスケジュールについて報告。

※詳細は資料を参照

委員意見質問

内藤委員 委員の方、いろいろな立場の方がいらっしゃるのですが、一概に一つの意見ではないと思うが、概ねどのような反応があるのかということと、学校訪問で現場を見て、例えば特別支援学級の増え方であるとか、本当に大変だと感じているが、今の教育現場を見たことがある委員も方がどのくらいいらっしゃるのか。

石橋課長 現場という意味では、校長先生が2名入っており、自身の経験や感じているところを述べていただいているというふうに考えている。教員の方も1名入っており、先日は現場の、一クラスの生徒数が多い場合と少ない場合の問題点についての話をいただいた。PTAの方もいらっしゃるのですが、学校の施設についての話をいただいたり、幼稚園の先生からは、幼稚園から小学校に上がる際の気を付けている点などについての話をいただき、非常に有効な意見だったと思っている。また、自治区の方が4名様いらっしゃるが、特に学校との関わりを密接にされている地区の方もおられ、そういった方々は学校の教室以外のところで関わりを持っていらっしゃるというところもあり、そういった視点からの意見をいただいているというふうに感じている。

宇山部長 今回はどこどこを統合するという話ではなく、必要な規模を議論しているのですが、概ね、特に地域から出られてる方は、規模適正化には統廃合も必要でしょうというスタンスで会議に参加されてるのではないかとの感覚がある。ただ、各論ではないので、この段階では、そういった雰囲気での会議の内容かなと感じている。

阿部委員 1(2)の事務局説明のところで、通学区域に関するところとあるが、今回の会議では、通学区域をどのように考えようという話があった

のか。

石橋課長 今回、通学区域がそもそもどのように決まるのかというところで、概ね小学校だと4キロ、中学校なら6キロという国の示す基準があるが、その範囲を地図で示しながら、肌感覚で実感していただけるような形で説明を行った。

阿部委員 今の小学校の区域というよりは、法律で決まってる小学校や中学校の距離の範囲とかを見ていただいたということか。

宇山部長 小学校4キロ、中学校6キロという文部科学省が作成した公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きで示した通学距離についての基準でそういうような考え方があるが、それを見ていただきながら、規模適正化のイメージも高めてもらいながら、さらには、統廃合だけが選択肢ではないということもあって、通学区域を見直すだけで、児童生徒数の多いところと少ないところのバランスがとれるという考え方もあるので、いろんな考え方を合わせて、検討の材料として紹介させていただいたというところもある。

○その他

●グローバル人材育成進捗報告【学校教育課】

6月22日(日)に、初顔合わせとなる第1回目の研修を庁舎地下1階Nカフェで行った。参加者の中学生8名、高校生4名に加え、全員の保護者の方の参加があった。自己紹介、委託業者の紹介、スケジュール等の説明のあと、前年度参加者に参加してもらい研修を行った。7月5日(土)に委託業者のタイガーモブ主催によるオンライン研修が行われ、今後、3回目と4回目の研修をオンラインで行う予定。

委員意見質問、特になし

●夏季休業日のみ開所する学童クラブの設置について【こども育成課】

今年度、夏季休業日のみに開所する学童クラブを、直方東小学校と植木小学校に設置する。対象は、学童保育が必要な市内の全小学校の児童となる。直方東小学校は、東小4名、上頓野小3名、直方西小1名の計8名。植木小学校は、植木小2名、新入小2名、直方北小3名、感田小2名の計9名となっている。昨年度は待機児童のみを対象としたことから応募がなかったが、今年度は通年の学童とあわせて募集したことで、夏季休業日のみ開所する学童クラブを開設することができた。

委員意見質問、特になし。

●市立図書館閉館中の図書館司書の活用について

阿部委員 先日、学校訪問で植木中学校に伺った際、図書室について、校長から蔵書も古く、運営を図書委員に任せていることも多いと言われていた。直方一中は、ディスプレイとかすごく熱心にされていて、小学校では、直方市図書館のおすすめの本というディスプレイをされたりしていた。できれば今度の図書館の改修のときに、たしか総合教育会議では、休館中に司書さんが赴くのは小学校と書いてあったかと思うので、それをできれば、そういう機会を活用して、中学校にも出向していただければと思うが。

林課長 直方一中は、図書ボランティアの市の予算を活用してきていただいている。なので図書館の運営もどんどんその方にやってもらってるので、たまたまそういういい人が来ていただいているので、あそこまで充実した図書館になっているという面はある。そういうボランティアの方がおられる、おられないとかでも差はでてくるかもしれない。

阿部委員 せっかく改修期間というのがあって、司書の方に来ていただくいい機会なのかなと思うが。

中野委員 今の件で、図書館のほうも図書館自体がお休みの期間に、働いていらっしゃる方の雇用も守らなければいけないし、図書館の工事の間の図書貯蔵所にちゃんと保管することなどで忙しいところもあるみたいだが、それも兼ね合わせて各学校に行ってもらえたら、ウィンウィンの関係になるかなと私も思っている。

船越課長 先日の総合教育会議の中でコンセプトを発表させていただいた際に、確かに学校図書館の支援を閉館期間中に行うということでお伝えした。その中では、市立図書館の司書を各小学校に派遣しますということでお伝えをしていたが、今のお話で中学校も行った方がいいのではないかというアドバイスをいただいたので、前向きに検討していきたい。

●会議録署名委員の指名について

内藤委員を指名

6. 閉会

(署名)
直方市教育委員会教育長

山本 栄司

(署名)
直方市教育委員会教育委員

内藤 誠治
